くまのかぞく

しゅうたのぼうけん

EHON INC.

くまのかぞく

しゅうたのぼうけん

EHON INC.

ここは　しずかな　もりのおく
パパ　ママ
しゅうた　そうへい　かなた　がくらす
おうちがありました

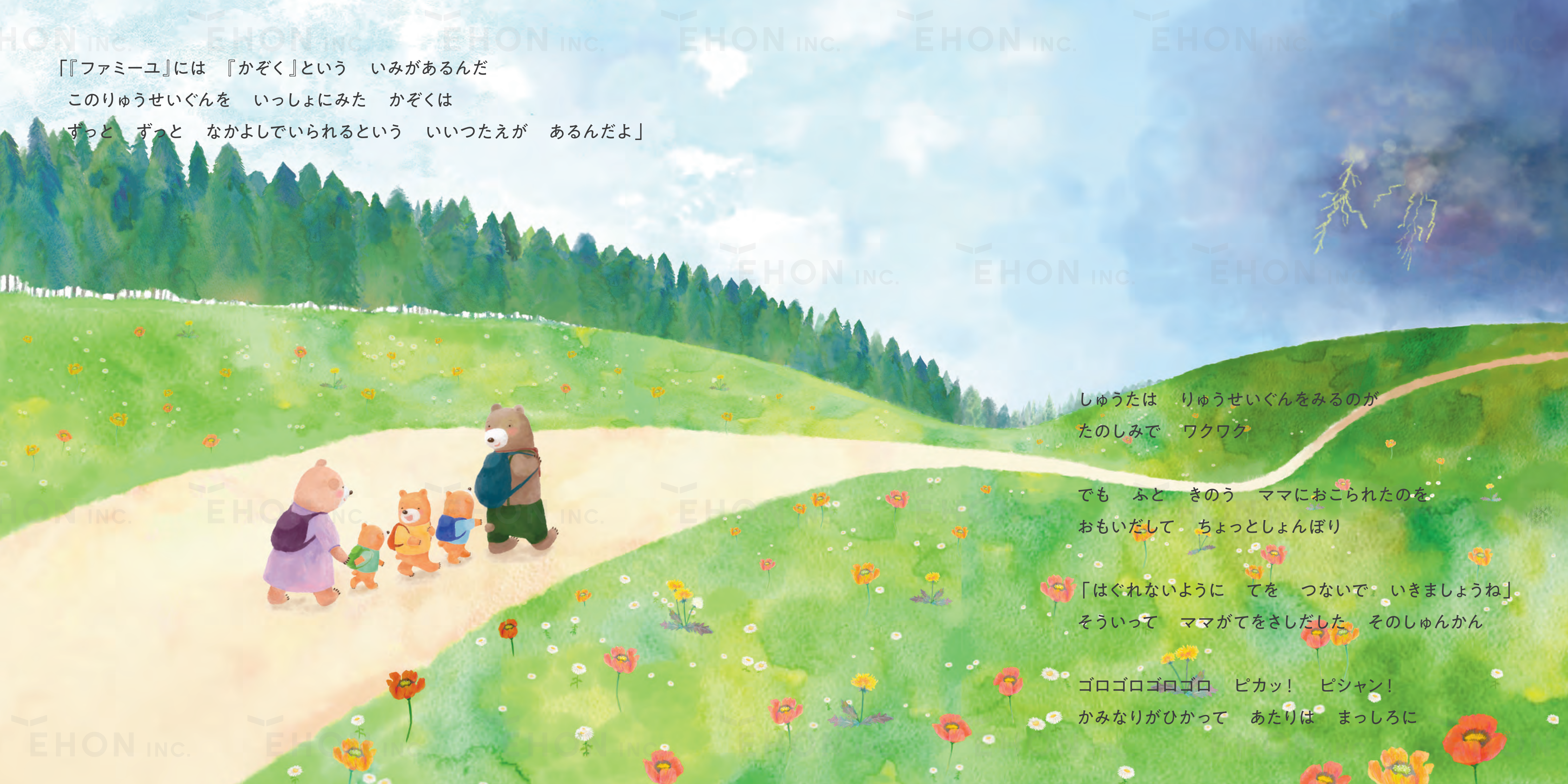
「はやく　じゅんびしなさーい」
「いまやってるよー！」
なにやら　にぎやかな　こえが　きこえます

EHON INC.

あしたは　100ねんにいちどだけ　あらわれる
ファミーユりゅうせいぐんが　よぞらを　いろどるひ
かぞくみんなで　でかける　じゅんびに　おおいそがしです

「ファミーユりゅうせいぐんは　もりをこえたおかで
よくみえるようだよ　そろそろ　しゅっぱつしよう」
パパは　ちずをながめながら　いいました

EHON INC.



「『ファミーユ』には　『かぞく』という　いみがあるんだ
このりゅうせいぐんを　いっしょにみた　かぞくは
ずっと　ずっと　なかよしでいられるという　いいつたえが　あるんだよ」

しゅうたは　りゅうせいぐんをみるのが
たのしみで　ワクワク

でも　ふと　きのう　ママにおこられたのを
おもいだして　ちょっとしょんぼり

「はぐれないように　てを　つないで　いきましょうね」
そういって　ママがてをさしだした　そのしゅんかん

ゴロゴロゴロゴロ　ピカッ！　ピシャン！
かみなりがひかって　あたりは　まっしろに

EHON INC.

ゆっくりと　めを　あけてみると
そこにたっていたのは　くろいマントの　おとこ
うしろには　パパとママ
そうへい　かなたが　たおれています

「はっはっは！　きみのかぞくは　ぼくが　あずかるよ
かえしてほしければ　ファミーユりゅうせいぐんが
よぞらにながれる　そのときまでに
ぼくが　このさきの　もりにかくしておいた
みっつのひかりを　みつけるんだ！」

そうさけぶと　くろいマントのおとこは　かぞくを　つれさって　きえました

EHON INC.

「ひとりぼっちになっちゃった」
しゅうたが　しくしくないていると　うしろから　こえが　きこえます

「なかないで　なかないで　かおをあげて」
そこにいたのは　ちいさくて　かわいらしい　ようせいでした

「きみは　だれ？」
「わたしは　もりのようせいのおうじょ　リリー
　おおきな　かみなりが　きになって　みにきたの」

しゅうたは　かぞくが　さらわれたことを
なみだをふきながら　はなしました

「もりのことなら　わたしに　まかせて
　かぞくを　たすけるの　わたしも　てつだうわ！」

「ありがとう！」
しゅうたは　リリーといっしょに　あるきだしました

EHON INC.

しゅうたとリリーは　おがわのほとりを　ずんずんすすんでいきます

「リリーには　きれいな　はねがついているんだね」
「ママゆずりの　じまんの　はねなのよ」
そうこたえるリリーは　すこし　ほこらしげです

「いろんなところに　とんでいけるんでしょう　いいなあ」
しゅうたは　リリーのはねを　うらやましそうに　みています

「あなたにだって　わたしにない
　すてきなところが　あるでしょう？」
「うーん　どうだろう」

しばらくあるくと　きれいな　みずうみの　ほとりに　たどりつきました
あたりをみわたすと　みずべの　しげみから　ひかりがキラリ
「みて！　あれって　もしかして！」

ひかりのしょうたいは　にじいろのみずがはいった　ちいさなびん
「これが　ひとつめの　ひかりだね！　ストローもある　しゃぼんだまかな？」
しゅうたは　ストローに　にじいろのみずをつけ
ふうっと　いきをふきかけました

EHON INC.

すると　しゃぼんだまが　そらに　ふわっ
よくみると　しゃぼんだまのなかに　なにやら　もじがうかんでいます

「わあ　きれい！　でも　あのもじは　なんだろう？」
「もしかして　しゅうたの　すてきなところじゃないかしら
　ほら！　あれも　これも」
リリーは　なんだか　うれしそう

いつも
にこにこ

ごはんを
よくたべる

みんなに
やさしい

しゅうたも　うれしくなって　また　ストローをふうっ
かぞえきれないほどの　しゃぼんだまが
そらたかく　まいあがっていきました

EHON INC.

しばらく　あるくと　おおきなどうくつを　みつけました

「リリー　あれ　みて！」
くらい　どうくつのおくから　ひかりがキラリ

「きっと　ふたつめの　ひかりね」
リリーは　うれしそうに　いいました

「どうくつは　こわいけど　なかにはいらないと　とれないや」
しゅうたは　おそるおそる　なかへはいり
ふたつめの　ひかりに　てをのばします

EHON INC.

ひかりの　しょうたいは
ちいさなとけい

「もじばんのすうじは　なにかしら？」
ふしぎそうなリリー
でもしゅうたは
わかっていました

「たんじょうびだ！」

「主人公の名前のたんじょうび？　すごい！　ぐうぜんかなあ？
そういえば　じぶんが　うまれたひのこと　パパとママに　きいたことある？」
リリーにきかれて　しゅうたは　すこしかんがえました

「うーん　きいたことないかも」
「ぶじにあえたら　きいてみて
きっと　パパとママにとっても　とくべつなひだった　はずだから」
リリーのことばをきいて　しゅうたは　ぎゅっと　とけいをにぎりしめました

EHON INC.

どうくつを　あとにすると　あたりはすっかり　ゆうぐれどき

しゅうたは　うすぐらいそらをみて　ふあんそう
「きっと　だいじょうぶよ
　そうだ！　しゅうたのパパとママは　どんなひとなの？」
リリーは　あかるいこえで　いいました

「パパはすごくものしりで　ママはすごくはたらきもの
　ふたりとも　いつもやさしいけど　おこるときは　とてもこわいよ
　それに　きのうも　ママにおこられちゃったんだ」
しゅうたは　しょんぼりしたかおで　いいました

「わかる！　うちのパパとママも　いつもやさしいけど　おこるとこわいわ
　とくに　おとうとのロイは　よく　おこられているのよ」

「おとうとが　いるんだね　あってみたいなあ」
しゅうたが　そういうと
「やんちゃな　おうじさまの　おとうとがね　きっと　すぐに　あえるとおもうよ」
リリーはしずかに　こたえました

EHON INC.

さらに　もりのおくへ　すすむと
きがトンネルのように　おいしげる
ふしぎなみちに　でました

「さあ　あともうすこし　がんばりましょう」
リリーに　はげまされ　しゅうたは　ずんずんすすみます

やがて　みちのさきに　まばゆいひかりが　みえてきました
「まぶしい！　あれが　みっつめの　ひかりかな？」
しゅうたは　ひかりにむかって　あるきだしました

EHON INC.

みちをぬけると　そこにはいちめんの　はなばたけが　ひろがっています
「みて！　あそこ　とてもまぶしく　ひかってる」

いろとりどりの　はなのかげから　ひかりがキラリ
「いってみよう！　きっと　あれが　さいごのひかりだ」
しゅうたは　むちゅうになって　かけだしました

EHON INC.

ひかりにてをのばすと　そのしょうたいは　キラキラかがやく　いっぽんのかぎ
「なんのかぎだろう」　しゅうたが　くびをかしげていると

「はっはっは！　みっつのひかりを　みつけたようだね」
うしろから　ききおぼえのある　こえが　きこえました

ふりかえると　そこには　くろいマントのおとこが　たっています

「やくそくどおり　きみの　かぞくは　かえしてあげよう」

くろいマントのおとこが　つえをふると　けむりがボワン！
なかから　パパとママ
そうへい　かなたがあらわれました

「たすけにきて　くれたのか」
パパは　びっくりしたかおで　いいました
「けががなくて　よかったわ」
ママは　いまにも　なきだしそう

「リリーが　てつだってくれたおかげだよ」
しゅうたが　ふりかえると

リリーは　かおを
まっかにして
ふるえています

「こら　ロイ！　また　あんたは　ひとにいたずらして！」
まるで　かみなりのようなこえで　リリーは　いいました

「うわあ　おねえちゃん！」
くろいマントのおとこが　びっくりして　しりもちをつくと
マスクがとれ　リリーそっくりの　かおが！

「みんな　ごめんよ　ぼくは　もりのようせいのおうじ　ロイ
　まいにち　たのしそうな　きみたちかぞくが　うらやましくて
　いつも　きのかげから　こっそり　みていたんだよ

　でも　きのう　しゅうたが　ママに　おこられて
　へやで　ひとり　しょんぼりしている　すがたを　みてしまったんだ

　ぼくは　しゅうたに　げんきになってほしかった
　みんなから　あいされていることを　おしえてあげたかったんだ
　でも　ちょっと　やりすぎちゃったよね」

ロイのめからは　おおつぶの　なみだが　ぽろぽろ
「ごめんね　ごめんね」　と　あやまっています

「なかないで　かおをあげて」
しゅうたは　ロイのてをにぎって　いいました

「しんぱいしてくれてたんだね　ありがとう
　ひかりを　みつけるたびに　こころが　あたたかくなったんだ
　そうだ！　ともだちになろうよ　いっしょにあそぼうよ」
それをきいて　ロイは　かおをあげて　しゅうたを　みつめました

「ロイは　やさしい　いいこだね」
パパはしずかに　いいました

「こんどは　おうちに　いらっしゃい」
ママはやさしく　ほほえみました

EHON INC.

「もう　ロイったら　ほんと　おせっかいなんだから
　こんかいは　やりすぎよ
　でも　はじめての　ともだちができて　よかったね」
リリーは　なんだか　うれしそうでした

「しゅうた　ありがとう」
ロイが　ふたたび　つえをふると　けむりがボワワン！
なかから　あらわれたのは　たからばこ

「これは　まほうのたからばこ　さいごにみつけた　かぎで　あけてみて
　たからばこのなかから　きみを　たいせつに　おもってくれているひとの
　メッセージが　でてくるよ」

しゅうたは　ゆっくりと　たからばこを　あけました

EHON INC.

しゅうたへ

習いはじめたサッカーをがんばってる姿をみて
パパもママもとてもうれしいです

小さな頃から今も変わらず大好きな車で
家族みんなでまたドライブにいこうね

いつも元気でにこにこ
ごはんは好き嫌いなく　なんでもよく食べて
すなおでだれにでもやさしいきみが
パパもママも大好きです

パパ・ママより

とつぜんの　メッセージに　しゅうたは　びっくり
それをみて　パパとママも　にっこり　しゅうたをぎゅうっと　だきしめました
リリーとロイも　うれしそう　ふわっと　よぞらへ　とんでいきました

EHON INC.

ふと　みあげると　いちめんの　ほしぞら
キラキラと　かがやく　ながれぼしが　ふりそそいでいます
「ファミーユりゅうせいぐんだ！」

"このりゅうせいぐんを　いっしょにみたかぞくは
ずっと　ずっと　なかよしでいられる"

ふりそそぐ　ほしのひかりを
いつまでも　いつまでも　みつめていました

EHON INC.

絵本に入ろう。

ehon-inc.jp

くまのかぞく　しゅうたのぼうけん

作	ÉHON INC.（えほんインク）
文	あそや　りか
絵	しょこらぺす（https://chocolatpesu.jimdofree.com/）
発行所	株式会社アッタデザイン 〒141-0031 東京都品川区西五反田1-26-2 五反田サンハイツ607
印刷・製本	石川特殊特急製本株式会社
総合企画・編集	株式会社アッタデザイン（https://attadesign.co.jp）

この本に関するお問い合わせ先（落丁や乱丁本について／ご意見・ご感想等）は、support@ehon-inc.jp まで。

本書の一部あるいは全部を無断転載、複写・複製することを禁じます。法律で認められた場合を除き、著作権の侵害となります。

EHON INC.